

令和5年度(2023年度)モニタリングシート

長沼 学童保育所

施設名		長沼 学童保育所													
視点	評価項目	6月			9月			12月			所管課 期末評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価(コメント)		
		所管課 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価(コメント)	所管課 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価(コメント)	所管課 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価(コメント)					
施設の管理・運営を安定して行うことができるか	定量的	職員配置(常勤数、非常勤数、加配数)・放課後児童支援員 【日報】	B	配置職員及び放課後児童支援員は適正に配置されている。	B	児童数に合わせた職員配置を行っている。	B	出席児童数に見合った職員配置である。							
	定量的	月報(学童保育状況報告書)・日報(育成日誌業務記録)を作成しているか	B	日報・月報は適正に作成されている。	B	日報は日々、月報は決められた日に作成している。	B	適正に作成している。							
	定性的	団体の経営方針が明確であり、きちんとした経営がされていること	B	適正かつ明確化が図られている。	B	口座を開設し、会計帳簿を記録している。	B	適正に処理している。							
		延長利用料金の徴収は適正に行われているか【独立した会計帳簿・日報、月報・銀行口座・徴収書】	B	適正に徴収されている。	B	延長保育料は適正に徴収している。	B	適正に行っている。							
		収支計画が適正であること	B	適正に執行されている。	B	適正に執行している。	B	適正に行っている。							
	管理運営がきちんとできる職員体制や研修体制がとれていること	B	法人独自の研修、児童虐待研修、市内や法人内の実例を基にした研修を実施。	B	行われている。「児童虐待研修」八王子市内の実例をもとにした研修や、過去の法人内の実例子どもの権利条約を学ぶ	B	A 2学期にも引き続き専門の講師に依頼し、子どもの権利条約をもとにした研修や、その他多岐にわたる研修を行っている。								
	保育の継続性を確保するため、年度途中の人事異動を避け、職員を安定・継続的に配置しているか【事業計画書・日報・ヒアリング等】	B	安定かつ継続的な職員配置がなされている。	B	ヒアリングは毎年行い、安定した職員配置を行っている。	A	B 夏休休業期間からの保育に、配置職員及び放課後児童支援員は適正に配置されている。また、学童保育所の卒業児童の高校生がボランティアを活用し、より児童の安全と子ども達の遊ぶ機会の幅を広げている点を評価する。	B	同じ現場で長く働けるよう、ヒアリング等を実施して職員体制を安定させている。						
	事業者の経営状況が健全な状態であるか【確認資料例：財務諸表・財務評価表】	B	適正である。	B	経営状況は健全である	B	B 健全である。								
	施設の管理運営を安定して行う能力を有しているか	B	協定書で定める範囲内で、非常通報装置、定期清掃が行われている。	B	協定で確認している第三者委託のみ	B	B 定期清掃等、必要なもののみ行っている。								
	施設の運営において公共性、公平性、公正性が図られているか	定量的	入退所等関係書類が滞りなく処理されているか	B	適切に処理されている。	B	B 受け取った日に処理をしている。急ぐものは学校交換便を利用している。	B	B 複数人で確認し、処理している。						
定性的		利用者が公平に施設利用ができるよう、配慮されていること	B	開所日数、開所時間は守られているか【日報、月報・事業報告書】	B	開所日数、開所時間はしっかりと守られている。	B	B 守られている。							
		施設の公共性、公平性について継続性が保たれているか	B	文書の管理・保存が適切に行われているか【ファイル基準表(なければそれに準ずるもの)・実地調査】	B	ファイル基準表に則り適切に管理・保存がされている。	B	B 文書管理は適切に行っている。	B	B ファイル基準表を作成し、管理している。					
		設備・機器類の安全確認や定期的なメンテナンス、施設の修繕、清掃、整理整頓が行われているか【事業報告書・実地調査】	B	日常清掃や、保守点検による設備等の維持管理は適切に行われている。	B	B 施設内の点検は毎日行っている。	B	B 適宜行っている。							
定量的	備品の管理が適切に行われているか【備品台帳・実地調査】	B	適切に管理されている。	B	B 備品管理は適切に行っている。	B	B 備品台帳を作成し、管理している。								
施設のサービス向上、利用者の増加等を図る方策が図られているか	定量的	利用者の満足度3.0【利用者満足度調査】													
	定性的	放課後子ども教室運営団体と情報共有が図られ、放課後子ども教室への参加について柔軟に対応されているか	A	児童の情報共有や活動ルール、安全対策を双方で協力して行っている。放課後子ども教室への参加については、学童保育所及び運営団体の実行担当者、関係機関との連携により、児童が双方の活動に柔軟に参加できるように配慮されている。両者の一体的な推進が図られている。	B	児童が放課後子ども教室に参加できる機会を確保し、指導員が放課後子ども教室への参加状況の確認を行い、児童の情報共有や安全対策を双方で協力して行い、放課後子ども教室へは毎日積極的に参加している。また、学童保育所所属職員も継続した児童の安全と関係性の構築につながっていることを評価する。	A	B 学童と同法人が運営を行っているため、随時情報共有をしている。							
		利用者からの苦情処理の体制がとれていること	B	苦情解決の体制(解決責任者の設置・受付担当者の設置)を整備し、利用者等からの相談及び苦情に適切に対応しているか【マニュアル・相談、苦情をまとめた整理帳簿】	B	苦情・相談は細かく記入し、ヒアリングを行っている。	B	B 苦情相談ノートで管理し、職員間で共有している。							
		利用者への周知・理解及び支援を深める取り組みを進めているか	B	保護者(会)とのコミュニケーション及び支援を深める取り組みが行われているか【おたより、連絡帳】	B	保護者会・おたより等にて適正に取り組まれている。	B	B 保護者会・個人面談を実施し、家庭の様子と学童での様子を共有している。	B	B 保護者会や父母会の開催、マ子コーナーによる情報発信等、適宜行っている。					
		学童保育所と地域の交流を広げる取組がなされているか	B	学校、地域等の関係機関と連携し、特色ある行事を計画的に実施することで、保育活動の拡充・拡大を図っているか【事業計画書・事業報告書・行事計画書・ヒアリング等】	B	学校とは学期に1回連絡会を設けており、子どもの様子を共有している。	A	A 学校とは、配慮の必要な児童を含め、担任の先生と日々の情報提供・共有を行ない、学期ごとに面談も実施するなど情報共有の機会を確保できている。また、地域のお祭りやイベントに参加など、地域関係との良好な関係を構築することで、保育活動の拡大・拡充を継続して行っていることを評価する。	A	A 学童のみならず全校児童を対象とした行事を、地域の方や小学校PTA、おやじの会と協力して行っている。					
資源の有効活用など環境に配慮した管理運営がされていること	定性的	「八王子市役所エコアクションプラン」及び「八王子市役所環境マネジメントシステム(H-EMS:ホームズ)」に基づき、環境に配慮した管理・運営が行われているか【ヒアリング等】	B	節電・節水、紙のリサイクル、おやつの空き箱の再利用などが環境に配慮した取組がなされている。	B	B 紙の再利用や、節電を心がけている。	B	B 行事や日常活動において、利用者に呼びかけて資源の回収・再利用を行っている。							
	定量的	年間行事が事業計画どおり実施されているか【行事計画書、行事参加者名簿】	B	計画どおり実施されている。	B	B 年間活動通りに行われている。	B	B 行っている。							
	定性的	防災訓練等(地震、火災、不審者、交通ルール等)は事業計画どおり実施されているか	B	地震、火災等を想定した防災教育・避難訓練、不審者対応などを計画的に実施している。	B	B 避難訓練の実施を行っている。	B	B 実施している。							
個人情報保護管理及び危機管理が図られているか	定性的	個人情報の取り扱いが適切であること	B	個人情報の保管等適切な管理のための必要な措置が講じられているか【保管庫の施錠、マニュアルの整備、情報セキュリティの順守】	B	個人情報の取り扱いに関するマニュアル通りの管理を行っている。	B	B 適切である。							
	定性的	指定管理者が加入しなければならない保険に加入しているか【保険証券】													
		緊急(防火・防犯等)対応等危機管理体制がとれていること	B	事故・災害に備えて、迅速かつ適切な対応が出来るよう、マニュアル類や連絡体制を整えている。緊急連絡先や初動対応のフローも職員の見やすい場所に提出するなどの適切な措置がとれている。	B	B 事故発生時は、マニュアルに沿って対応している。	B	B 緊急時に備えて、小学校とも連携できるようになっている。							
定量的	事故報告等の収集した事例について、職員の参画のもと発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討実施する等の取組が行われているか【マニュアル・事業計画書(事業計画)・事故報告書】	B	事故案件、事故事例等を基に発生原因の検証や、対応策について職員間で話し合っている。また、事故発生時の対応策、ミーティング時にはマニュアルなどに基づき、職員間で発生原因・再発防止策について話し合いを行っている。	B	B 事故の内容、その後の対応については打ち合わせや会議等で話し合いを行っている。	B	B 事故報告に関して、他現場や法人内の他地域学童とも情報を共有し、事故防止に努めている。								

期末総合評価

所管課コメント